

平成22年度 ニシン漁獲物調査速報(11)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、適宜お知らせします。

石狩湾海域での2月中旬までのニシンの漁獲量は約1,200トン(北海道水産振興課普及指導員)と、当初の予想を超えた好漁となっています。そんな中で、漁獲の中心の一つとなっている石狩湾漁協石狩支所で、2月28日に水揚げされたニシンについて生物測定調査を実施しましたので、その結果を報告します。なお、本調査は石狩湾漁業協同組合および石狩地区水産技術普及指導所の協力の下で実施しました。

【結果】

1. 尾又長のモードはこれまでと異なり、27cmにありました。また、これまでの調査でモードがみられた30cm前後にも副モードがあり、二峰型の組成となっていました(図1)。
2. 年齢を見ると、これまで漁獲のほとんどを占めてきた5年魚(2006年級)の比率が46%と低くなっており、代って3年魚(2008年級)が40%と多くなっていました(図1)。
3. メスの完熟率は前回に引き続き100%となっていました(表1)。

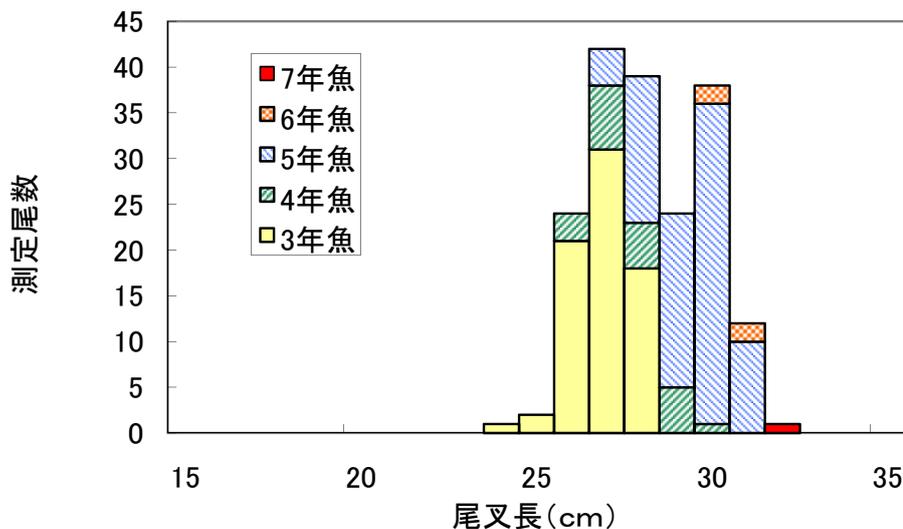


図1 2011年2月28日石狩
年齢別尾又長組成

表1 石狩湾漁協(石狩・2月28日)の雌雄別測定結果

項目	オス	メス	合計
測定尾数	93	90	183
平均尾又長(cm)	28.7	28.6	28.7
平均体重(g)	273.3	277.8	275.5
平均生殖腺重量(g)	56.9	68.5	-
平均GSI(%)	26.8	32.7	-
完熟率(%)*	-	100.0	-

*完熟卵をもつ雌の比率。